

令和4年上半期の火災・救急・救助統計(7月15日時点速報値)



火 災 住宅火災での出火原因1位は「こんろ」

上半期に発生した火災は62件でした。火災種別では、建物火災が28件、その他火災が28件で最も多く、それぞれ全体の約45%を占めています。建物火災のうち住宅火災は、17件で約61%を占めています。昨年同時期と比較すると火災件数は13件増加し、建物火災も7件増加しています。出火原因の1位は「たき火(約16%)」でした。たき火を行う際は、水バケツを準備し、火の始末はきちんと行い、風の強いときは実施しないようにしましょう。また、「こんろ」が原因の住宅火災が7件(住宅火災の約41%)発生しています。火の取扱いに注意し、火災に早く気づき初期消火や避難をするために住宅用火災警報器や住宅用消火器を設置しましょう。また、定期的に点検し適切に維持管理しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分		令和4年上半期	令和3年上半期	比 較
火災件数合計(件)		62	49	13
火災種別(件)	建物火災	28	21	7
	うち住宅火災	17	15	2
	林野火災	1	3	▲2
	車両火災	5	4	1
	その他の火災	28	21	7
	死者(人)	1	3	▲2
負傷者(人)		4	3	1

出火原因

単位は件 ▲は減を示す

出火原因	令和4年上半期		令和3年上半期		比 較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	5	1	2	1	3	0
こんろ	8	7	0	0	8	7
かまど	1	0	0	0	1	0
焼却炉	0	0	1	0	▲1	0
ストーブ	1	1	4	4	▲3	▲3
排気管	0	0	1	0	▲1	0
電気装置	0	0	1	0	▲1	0
電気機器	2	1	1	1	1	0
電灯・電話等の配線	2	1	3	2	▲1	▲1
配線器具	5	4	3	2	2	2
火あそび	2	0	0	0	2	0
マッチ・ライター	1	0	1	1	0	▲1
たき火	10	0	11	1	▲1	▲1
溶接機・切断機	2	0	0	0	2	0
灯火	1	1	0	0	1	1
火入れ	5	0	6	0	▲1	0
放火	1	1	1	1	0	0
放火の疑い	3	0	8	0	▲5	0
その他	11	0	6	2	5	▲2
不明・調査中	2	0	0	0	2	0
合計	62	17	49	15	13	2



救 急 出動件数1位は「急病」

上半期の救急出動件数は、8,030件でした。事故種別では、急病が5,212件と最も多く、全体の約65%を占め、次いで一般負傷が1,292件(約16%)、交通事故が412件(約5%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は1,117件増加し、搬送人員は754人増加しています。

また、搬送人員全体の約47%が軽症患者でした。本当に救急車を必要としている尊い命を救うため、救急車の適正利用にご協力お願いいたします。

救急概況

▲は減を示す

区 分		令和4年上半期	令和3年上半期	比 較
出 動 件 数 (件)		8,030	6,913	1,117
事故種別(件)	急 病	5,212	4,479	733
	一 般	1,292	1,128	164
	交 通 事 故	412	413	▲1
	そ の 他	1,114	893	221
搬 送 人 員 (人)		6,953	6,199	754

救 助 出動件数1位は「交通事故」



上半期に出動した救助件数は、85件でした。救助種別では、交通事故が36件で全体の約42%を占め、次いで建物等による事故が19件(約22%)でした。昨年度同時期と比較すると、出動件数は2件減少しています。

台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすい季節です。防災気象情報を有効に活用し、早めの行動を心掛け、危険な箇所には近寄らないように注意しましょう。

救助概況

▲は減を示す

区 分		令和4年上半期	令和3年上半期	比 較
出 動 件 数 (件)		85	87	▲2
救助種別(件)	交 通 事 故	36	39	▲3
	水 難 事 故	8	1	7
	機 械 による事故	1	1	0
	建物等による事故	19	28	▲9
	上記以外の事故	21	18	3

問い合わせ

- ・ 火災 予防課違反指導担当 ☎254-0356 FAX 256-7755
- ・ 救急 消防救急課救急担当 ☎254-1600 FAX 254-1607
- ・ 救助 消防救急課消防救助担当 ☎254-1601 FAX 254-1607